

目標: 十字架に架けられたイエスの状況に自分を置いて比較することを通し、イエスがなされた御業の偉大さに触れる。

聖句: 「よく言うておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう。ルカ23:43」

時間: 10分

道具: ホワイトボード、ペン、

対象者: 小6×1 小5×1 小4×1 小3×1 小3×3 小1×2 未就園児×5

留意点: 当日の大人礼拝の聖書箇所が、偶然ながら被っている。出席している大人の方への同じ話を二度聞いたとさせない配慮が今回は必要である。

| 段階 | 時間 | 教師から | 子供に予想される反応 | 備考 |
|------|----|--|--|--|
| 課題確認 | 2分 | 今週は受難週です。イエス様は今週金曜日に十字架に架けられて、来週の日曜日に甦ります。今日は十字架でのイエス様のお話をします。 | | 十字架の苦難を特に覚える週だということを示し、導入とする。 |
| 課題探究 | 6分 | 十字架とは、どういうことをする刑罰でしたか。 | <ul style="list-style-type: none">・両手両足を釘づけられる・木に架けられて身動きが取れない。・少しずつ血が流れたしていく。・死刑 | 今まで述べてきたおさらいをする。概略が抑えられれば良い。 |
| | | イエス様が十字架刑についたのは、私たちの罪の身代わりをするためでした。 | | 問うても良いが、時間を見て、教師側でまとめる。 |
| 課題探究 | 6分 | イエス様の両脇には、犯罪人がイエス様と同じように十字架に架けられていました。イエス様は犯罪人の願いに、何と答えたと思いますか。補)自分だったらどう答えますか。 | <ul style="list-style-type: none">・あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいる・いいよ。・だめだよ。・分からない | 39節から42節までの内容を物語として提示する。 |
| | | イエス様は、全身に激痛が走り、意識もぼやけてきただろう中で、「(暗誦聖句)」と答えられました。イエス様は、亡くなる最後の最後まで、信じる人に慰めを与え続けたのです。 | | 暗誦聖句が答えそのものなのだが、案外気づかないものである。色々挙げさせたい。十字架に架けられている状況を想像させると、より具体的な答えが出てくるだろう。本時の目標のため、この推察に時間を割きたい。パラダイスは、天国という理解で進める。 |
| まとめ | 2分 | イエスは、私たちには不可能なほどに、私たち信じる者に真実でいてくださいます。この方を、改めて信じて行こうではありませんか。暗誦聖句 | | 犯罪人が何を信じていたかについては、残り時間にして提示したい。イエスは、神に迎えられる罪なき方であると信じたのである。もう一人の犯罪人との比較は、私たちがどのような姿勢で主イエスと向き合うべきかを探るのにたいへん、有益なのだが、今回は目標に集中するため、触れないようにする。184号テキスト全体のテーマからの反映として、この柄を受け取らせたい。 |

事

い

応

ん
事